

## 会議・協議等記録簿

<b>会議名</b> 佐久市保健福祉審議会・佐久市要保護児童対策地域協議会委員委嘱書交付式			
<b>日時</b>	平成29年7月21日(金) 13:30~14:10	<b>開催場所</b>	佐久市役所 8階大会議室
<b>出席者</b>	委員：堀内ふき、山田啓顕、和田裕一、小松正彦、甘利光治、野村裕行、大森健、小林政徳、伊藤雅章、河西光章、宮沢秀一、佐藤悦生、小平實、佐藤和男、市川みさ子、春日利夫、小林壽夫、小林眞浩、杉田義夫、松川たか子、佐藤一夫、中村美登里、花岡文夫 事務局：市長 柳田清二、福祉部長 工藤享良、望月支所長 丸山陽造、福祉課長 小池誠、健康づくり推進課長 佐々木和弘、白田支所企画幹 平林照義、地域福祉係長 広瀬泰昭、健康づくり推進課長補佐 吉江紀子、健康増進係長 篠原はづき、健康増進係 油井久美子、地域福祉係 石合莉菜子、地域福祉係 工藤実貴		委員 出 23名 欠 1名
≪開会≫  ≪委嘱書交付≫ 福祉課長 本年4月以降の選出組織等の代表者の交代等により、新たに9名の皆様を委嘱する。  佐久歯科医師会 会長 甘利光治 様 佐久歯科医師会 会計理事 野村裕行 様 佐久市区長会 会長 伊藤雅章 様 佐久福祉事務所長兼佐久保健所次長 河西光章 様 佐久市民生児童委員協議会 副会長 佐藤和男 様 佐久市保健補導委員会 会長 市川みさ子 様 佐久市保育協会 会長 松川たか子 様 私立幼稚園園長会 代表 佐藤一夫 様  ≪委嘱書交付≫  ≪市長あいさつ≫  ≪会長あいさつ≫			

《諮問》

(1) 佐久市自殺対策総合計画の策定について(別添諮問書のとおり)

福祉課長 諮問内容については、この後所管課から説明する。

《諮問内容説明》

【健康づくり推進課長から説明(資料1・2・3)】

【質疑応答】

委員 中学生向けの自殺予防啓発事業について具体的にどのような内容か。  
また、その際どこに相談したら良いと教えているのか。

所管課長 自殺予防啓発冊子を作成し説明している。  
夏休み明けに自殺が多い傾向があるため、休み前の6・7月に地区担当の保健師が冊子を使用して講話を行っている。その際に相談場所についても説明している。  
平成28年は、全ての中学3年生に説明を行った。平成29年度は、全ての中学1年生に実施した。今後継続して1年生に実施していく。

委員 相談先はどこがあるのか。

所管課長 「チャイルドライン」、市の教育相談室にある「コスモス相談室」、「こころのほっとライン佐久」等各種あるので、それをお知らせしている。

委員 資料1について、佐久市の自殺者の背景はどのようなものがあるのか。

所管課長 様々あるが、最低でも4つあると言われている。1番多いのが健康問題であるが、そこに至るまでにもさまざまな要因がある。

委員 資料2、佐久市の取り組みの16事業の内、1点目として、ゲートキーパー養成講座について、講座を修了されたゲートキーパーは何人いるのか。

2点目として、相談専用直通電話(こころのほっとライン・佐久)について、直近年度の相談件数は何件あったのか。

所管課長 1点目ゲートキーパー養成講座について、初級編は479名、中級編は333名。  
この講座は、平成24年度以降毎年実施している。また、その後のフォローアップ編については、平成25年度・27年度と実施し、全体で126名が受講している。

2点目の「こころのほっとライン・佐久」の相談件数については、平成28年度は628件となっている。

委員 老老介護等の高齢者が高齢者を支える方が佐久市にも多いと思われるが、その方々の自殺の実態はどうなっているのか。

所管課長 年齢で同居者がいる方、いない方等の中で自殺者がどれだけ違うかは示されているが、その内、高齢者の同居世帯で同居者が要介護者であるのか等、老老介護の状況まで踏み込んだ調査は実施していない。

委員 今後、もし把握するようであれば参考までにお示し願いたい。

委員 ゲートキーパー養成講座を受講された方が、「こころのほっとライン・佐久」の相談員としてたずさわられているのか。

所管課長 看護師・保健師の経験者に依頼している。現在、5名の方に交代制で、午前8時30分から午後5時15分までの間、フリーダイヤル対応をいただいている。

会長 感想として、資料1を見ると、、これが佐久市の幸せと一概に言えないと思うが、佐久市の自殺者は少ないと感じる。

日本の場合、働き盛りの自殺者も多いが、高齢者世代の自殺の割合が多くなって  
いる中で、佐久市は必ずしもそうではないのが不思議な気がした。

どの年代も比較的少ないが、高齢者が少ない要因は何かと感じた。

《その他》

《閉会》